

1. 論文の構成

- 1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。また，英語での表題をつけること。
- 2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最少限に記載する。著者資格については統一規定（註 1）を参照すること。なお，審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- 3) 要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」に項目を分け簡潔に記載する。また，研究論文（原著），短報以外の論文においては，著者の判断で項目名を変更してもよい。要旨は和文で 400 字程度とする。
- 4) キーワード：3～5 つとする。キーワードは，英語表記もすること。
- 5) 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし，研究論文（原著），短報以外の記事の種類の記事においては，著者の判断で項目名を変更してもよい。
 - ① はじめに 研究の背景，臨床的意義，研究の目的，取り扱っている主題の範囲，先行研究との関連性の明示などを記述する。
 - ② 対象および方法 用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
 - ③ 結果 研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは，検証，追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。
 - ④ 考察 結果の分析・評価，今後の課題などを記述する。
 - ⑤ 結論 研究で得られた結論を 200～300 字で簡潔に記述する。
 - ⑥ 利益相反 利益相反の有無について記載する。
 - ⑦ 謝辞 著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。
- 6) 文献：引用文献のみとする。
- 7) 図表：図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に，それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図は白黒二色とし，カラーは使用しないこと。図表の説明（キャプション）は図表の後に頁をあらたにして記載すること。

2. 規程分量 研究論文（原著）は 10000 字以内，短報は 3600 字以内，症例研究は 6000 字以内，その他は 8000 字以内とする。図表については，1 枚につき原則 400 字と換算すること。

3. 文献 引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初～最終）の順に書き，単行本の場合は著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁を記載する。文献名の省略は米国国立医学図書館（註 2）の方法にしたがうこと。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載する。

[例]

1) Inoue S, Hiragami F, *et al*: Differential response of microwave irradiation-induced differential and damage in PC12 mutant and PC12 parental cells. *Tiss Cult Res Commun*. 2017; 36: 31-40.

- 2) 樋口隆志, 井上茂樹, 他 : 高校野球選手における小胸筋に対するストレッチ方法の違いが小胸筋長および肩甲骨位置に与える影響. 理学療法学. 2016; 43: 383-389.
- 3) 石田 弘, 末廣忠延, 他 : 基本的運動療法, PT・OT のための臨床実習で役立つリハビリテーション基本手技. 椿原彰夫, 國安勝司, 他 (編), 診断と治療社, 東京, 2016, pp. 1-20.
- 4) 武田正則, 古澤一成, 他 : 脊髄損傷者における車いす上除圧・減圧姿勢の検討. 総合リハ. 2010; 38: 563-569.
- 5) 永富史子 : 哲学—理学療法の現場は哲学である—. PT ジャーナル. 2008; 42: 1074-1076.
- 6) 井上 優, 平上尚吾, 他 : 脳卒中患者の Dynamic gait index 得点に対する二重課題トレーニングを併用した運動療法の効果検証. 理学療法学. 2012; 39: 418-426.
- 7) 大島埴生, 沖田一彦, 他 : 脳血管障害患者と理学療法士の相互作用—歩行練習場面におけるビデオ分析を通して—. 人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌. 2017; 17(1): 9-16.
- 8) 青景尊之, 松尾慎 : 介護キャリア. 日総研. 2015; 12(3): 77-85.
- 9) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成 23 年度版.
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011 年 12 月 19 日引用)

4. 数量の単位 単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる。長さ : m, 質量 : kg, 時間 : s, 温度 : °C, 周波数 : Hz 等。

5. 略語 略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

6. 機器名の記載法 機器名は, 「一般名 (会社名, 製品名)」で表記する。なお, 統計ソフトは「製品名, バージョン番号, 会社名」とする。

7. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 表・図 (写真を含む) の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- 3) 行番号およびページ番号を必ず記載する。

8. 附則 本規則の改廃は編集委員会の決議による。

註 1 : 国際医学雑誌編集者委員会 : 生物医学雑誌への投稿のための統一規定
(http://www.icmje.org/urm_main.html)

註 2 : 英文電子ジャーナルもしくは英文ホームページについて, 以下の米国国立医学図書館ホームページを参照すること。(http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html)